

京都工芸繊維大学大学院

工芸科学研究科博士前期課程（修士課程）

建築学専攻

外国人留学生特別入試

2022年度（2022年4月入学）入学試験問題

小論文

以下の点に注意すること。

1. 解答用紙の受験番号欄に受験番号を記入しなさい。
2. 【1】から【3】の中から1つの問題を選択し、必ず問題番号を解答用紙の最初の行に記入してから解答しなさい。
3. 下書用紙は自由に使用してかまいません。

【1】以下の問いにすべて答えなさい。

(1) 建築史にかかわる次の語句から5つを選び、建築史的にどのような意味をもつのか、説明しなさい。(それぞれ日本語で100字程度)

1. 飛鳥寺 (法興寺)
2. 法隆寺東院伝法堂
3. 東大寺南大門
4. 如庵
5. 西本願寺書院対面所
6. 箱木家住宅
7. ジャン・ロレンツォ・ベルニーニ
8. サン・カルロ・アッレ・クワトロ・フォンターネ聖堂
9. シャルトル大聖堂
10. アドルフ・ロース
11. チャンディガール
12. インガルス・ホッケーリンク
13. 關智学校
14. 辰野金吾
15. レイモンド・ル・オ・ヌーヴォー

(2) 平安時代末期から室町時代にかけての、京都の街区構造の変化について説明しなさい。(日本語で200字程度)

(3) ヴィオレール＝デュク (Viollet-le-Duc) の建築修復について、その理念を実例に基づいて説明しなさい。(日本語で400字程度)

【2】集合住宅の計画に関する以下の問いに答えなさい。

- (1) 集合住宅の典型的なプランタイプとして、図1に示す「階段室型」「片廊下型」「中廊下型」が挙げられる。それぞれのタイプにおける、居住者にとっての長所・短所を考察しなさい。(日本語で500字程度)
- (2) 図2-1・図2-2の2種類の図面群は、類似した断面形式を持つ2つの集合住宅の住戸計画案A・Bを示しているが、その主たる計画意図は異なっている。それぞれどういったことを意図した計画なのか、考察しなさい。(日本語で500字程度)
- (3) 図3-1・図3-2の2種類の図面C・Dは、異なる集合住宅の住戸のリフォーム前後の平面図である。それぞれのリフォームの特徴について、リフォームを実施する背景となった居住者家族の変化を推測し、その変化とリフォーム内容を関係づけて考察しなさい。
(日本語で500字程度)
- (4) 上記の1～3の設問を踏まえると、集合住宅の計画において、どのようなことに配慮する必要があると考えられるか。簡潔に論じなさい。(日本語で500～1000字程度)

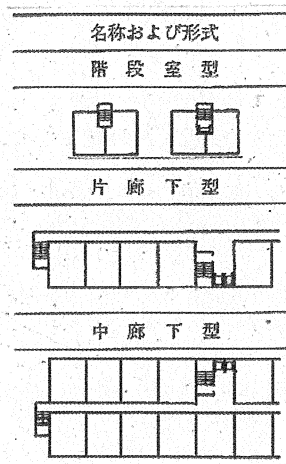


図 1

問題は著作権の関係で掲載しておりません

図 2-1 A

問題は著作権の関係で掲載しておりません

図 2-2 B

問題は著作権の関係で
掲載しておりません

問題は著作権の関係で
掲載しておりません

図 3-1 C

図 3-2 D

出典

図 1 岡田光正 他『現代建築学〔新訂〕建築計画 2』鹿島出版会、2016

図 2-1・2-2・3-1・3-2 社団法人日本建築学会編『建築設計資料集成—居住』丸善、2001

【3】以下の問いに答えよ。

(1) 日本と出身国の自然災害について、以下の点をふまえて説明せよ。

- ① 自然災害の種類とその特徴
- ② 建物への被害
- ③ 社会への影響

(2) (1) で述べた自然災害から被害を少なくするために、日本と出身国の建物はどのような工夫(建築構造技術)がされているかそれぞれ述べよ。また、出身国と日本の建築構造技術を比較し、論じなさい。

[(1)・(2)の合計で、日本語で3000字程度]

京都工芸繊維大学大学院

工芸科学研究科博士前期課程（修士課程）

建築学専攻

外国人留学生特別入試

2022年度（2022年4月入学）入学試験問題

設計

以下の点に注意すること。

1. 解答用紙はA2版ケント紙が1枚です。解答用紙は試験終了後に回収します。
2. 下書用紙はA2版トレーシングペーパーが2枚です。下書用紙も2枚とも試験終了後に回収します。
3. すべての解答用紙と下書用紙の受験番号欄（右下部の枠内）に受験番号を記入しなさい。

こうがいじゅうたくち ろうじん
郊外住宅地における老人ホーム

Nursing Home in Suburban Residential Area

<設計主旨>

高齢者が増える日本の郊外住宅地において、5人の高齢者がともに暮らす老人ホームを計画する。
5人それぞれの部屋を用意するとともに、共同のリビングやダイニング、水回りを計画すること。また、
時折ヘルパーがサポートのために訪れることも想定すること。

<敷地>

- 敷地の形状、道路との関係、方位は別図の通りである。
- 周辺道路や隣地との高低差はないものとする。
- 敷地の周囲には2階建ての住戸が建ち並ぶ。
- 許容容積率：100% 許容建蔽率：60%、その他の建築規制関係の法令は考えなくてもよい。

<構造・規模>

- 構造：自由
- 階数：地上2階建

<所要室>

- 寝室：15㎡程度 / 1室×5室
- 共用リビング・ダイニング：40㎡程度
- 共用キッチン：10㎡程度
- 浴室・洗面室・WC：適宜
- 娯楽室等：適宜
- トランクルーム：一人あたり2㎡程度
- ヘルパー控室：10㎡程度
- その他：廊下・内階段・外階段・エレベーター等

<屋外施設>

- 駐車場：4台

<要求図面>

- 各階平面図 1：200 1階平面図は配置図を兼ね、外構計画も描くこと。
- 立面図 1：200 1面以上
- 断面図 1：200 1面以上
- スケッチパース 1枚以上 内・外観は問わない。
- 設計主旨 適宜
- 建物データ 構造形式、延床面積、各室面積、容積率、建蔽率を記入すること。

*各図面には主要寸法を記入し、A2サイズ用紙横使いにまとめること。

じゅうたくち
住宅地

ほどう
歩道

どうろ
道路

ほどう
歩道

2000
6000
2000

しきち
敷地
900㎡

じゅうたくち
住宅地

じゅうたくち
住宅地

30000

30000

じゅうたくち
住宅地

敷地図 1:300

